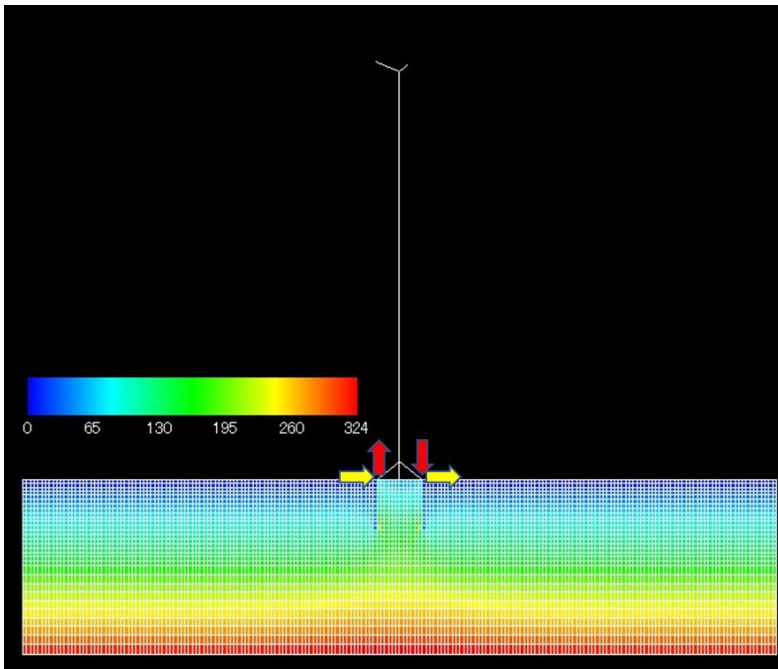


サクシオンバケット基礎形式の洋上風力発電システムの暴風時解析

FLIP ROSE 2D によるサクシオンバケット基礎形式の洋上風力発電システムの暴風時解析（NEDO プロジェクト、2017）の事例です。



(Ramboll, Netherland, 2017)



初期自重解析の結果、初期鉛直応力は、サクシオンバケット内では、その周辺の一般の地盤部よりも増加していることがわかります。

FLIP による暴風時解析では、風、波浪により作用するモーメントとせん断力の時刻歴を赤黄矢印で示すように強制入力し、サクシオンバケット/タワー系の変形解析を行いました。

以下の図は、この解析で得られたサクシオンバケットと周辺の地盤の変形状況および過剰間隙水圧の発生状況を示しています。

